

**Bスタ
5周年記念
特別講座**

TSMCに学ぶ 成長戦略

■セミナーの趣旨

半導体受託生産最大手の台湾積体電路製造（TSMC）が熊本県に進出し、多数の関連企業が事業所を構えています。TSMCはどうして世界的企業となり得たのか？

この潮流に乗り、熊本でビジネスチャンスをつかむには何が必要なのか？

国内外で活躍する有識者から学んでみませんか。

■日時

**2024年10月～2025年3月
毎月第3木曜日午後6時半～午後8時**

■形式

**オンライン配信
リアル受講会場：熊日会館6F**
会場では受講者同士の交流会も予定しています

■料金

**法人会員：各回2人まで無料
個人会員：5,500円(税込)/回
一般：11,000円(税込)/回**

■定員

25社（50人）※最少催行社数10社

01

**10月17日（木）
台湾理解のための
基礎知識**

野嶋剛
大東文化大教授
ジャーナリスト



02

**11月21日（木）
TSMCの内側からみた
世界企業への成長の理由**

陳健邦
元TSMC副社長
IT企業経営者



03

**12月19日（木）
TSMC及び台湾半導体
産業の発展と産業政策**

佐藤幸人
アジア経済研究所
上席主任調査研究員



04

**1月16日（木）
中華圏のビジネスと
電子産業のトレンド**

吉村章
TaipeiComputer
Association
東京事務所駐日代表



05

**2月20日（木）
TSMCが世界を動かす
ヒミツ**

林宏文
台湾経済・半導体
ジャーナリスト



06

**3月13日（木）
台湾政治を知る重要性**

前原志保
九州大学
台湾スタディーズ
プロジェクト主任



※内容は変更になる可能性があります

びぶれす

イノベーションスタジオ

〒860-0845 熊本市中央区上通町2番17号 びぶれす熊日会館7階

biz-dev@kumanichi.co.jp 担当：深川（熊本日日新聞社）

協力：熊日サービス開発

申し込みはこちら→



びぷれすイノベーションスタジオ 法人特典

TSMCに学ぶ成長戦略 講師紹介

第1回 10月17日（木）

野嶋剛（大東文化大教授、ジャーナリスト）

1968年生まれ。朝日新聞台北支局長、シンガポール支局長、政治部などを経て、ジャーナリスト活動を開始。大東文化大学社会学部教授。台湾に関する『台湾の本音』『台湾とは何か』など著書多数。

第2回 11月21日（木）

陳健邦（元TSMC副社長）

1955年生まれ。台湾・清華大学で物理研究修士号を取得後、TI-Acerの社長、TSMC副社長、精材科技会長などを歴任。台湾や中国のメディアでコラムを多数執筆する。

第3回 12月19日（木）

佐藤幸人（アジア経済研究所）

東京大学卒業、国立台湾大学修士課程修了、神戸大学経済研究科博士。1986年アジア経済研究所入所。現在、研究推進部上席主任調査研究員。主著は『台湾ハイテク産業の生成と発展』（岩波書店 2007年）。

第4回 1月16日（木）

吉村章（Taipei Computer Association 東京事務所駐日代表）

台湾を代表するコンピュータの業界団体で、日本業務の責任者として東京駐在。acer、ASUSなどパソコンメーカーから半導体のtsmcなど会員企業4,200社を有する。日本と台湾を繋ぐ「架け橋役」として活動を行っている。

第5回 2月20日（木）

林宏文（台湾経済・半導体ジャーナリスト）

台湾きってのITジャーナリスト、コラムニスト。半導体分野で30年の取材歴があり、昨年台湾で《晶片島上的光芒》を出版し、今年日本で『tsmc, 世界を動かすヒミツ』のタイトルでCCCメディアハウスより刊行された。

第6回 3月13日（木）

前原志保（九州大台湾スタディーズ・プロジェクト主任）

福岡県生まれ。カナダ ブリティッシュコロンビア大学（東アジア研究）、英国 リーズ大学修士課程（中国研究）を経て2014年国立台湾大学で法学博士号取得。現在、九州大学人間環境学研究院台湾スタディーズ・プロジェクト主任。